

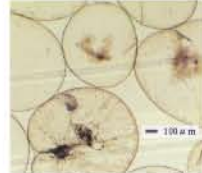
伊勢湾の症状「赤潮」・「苦潮(青潮)」

○赤潮

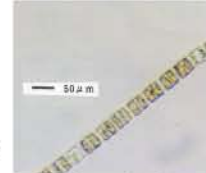
植物プランクトン(海にたまたよう小さな生物)が異常に増えることにより、海水の色が赤色や褐色を呈する現象



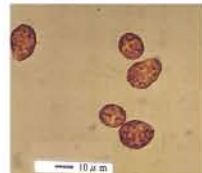
赤潮プランクトン類



▲ノクティルカ シンチランス(夜光虫)
出現時期:5~11月(伊勢湾中部~南部沖)



▲スケレトナマ コスタータム
出現時期:周年(伊勢湾北部~鳥羽沖、尾鷲湾、引本湾)のりの色落ちの原因になることがある



▲ヘテロシグマ アカシオ
出現時期:4~8月、10~11月(伊勢湾沿岸~引本湾に至る各浦湾)



▲キートセロス SPP
出現時期:周年(伊勢湾北東部~南部)のりの色落ちの原因になることがある

出典:三重県の赤潮生物

○苦潮(青潮)

酸素が少ないうえに毒物(硫化水素)を含んだ水の塊(貧酸素水塊)が海の底付近から浅場に浮上し、海水の色が乳白色を帯びた青又は緑色を呈する現象

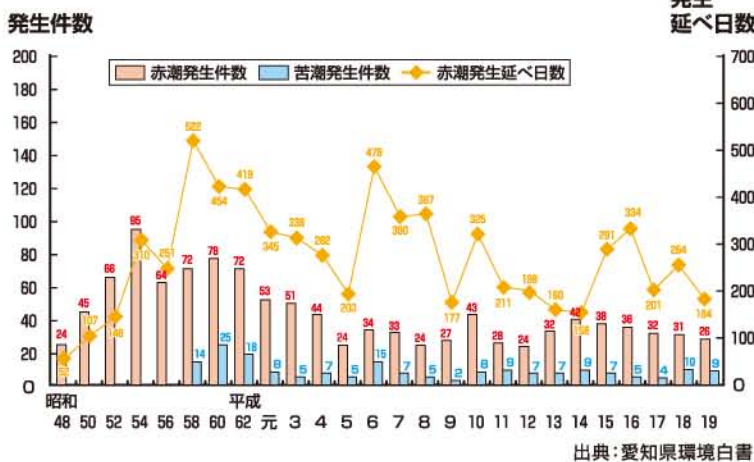


▲へい死した魚

▼へい死した貝



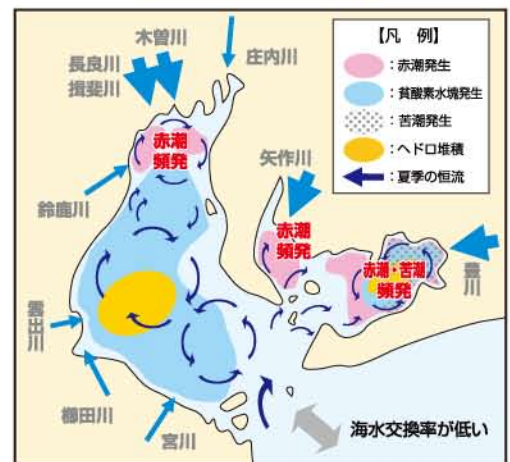
○発生状況



出典:愛知県環境白書

赤潮も苦潮も、見た目が悪くなるだけでなく、酸素不足、有毒物質等により魚や貝が大量に死ぬなど多くの被害を与えます。

よく発生する地域



出典:中部地方整備局パンプ「みんなで取り組む伊勢湾再生」より作成